

石川県滝港マリーナ 中期経営目標 (実施期間 平成27年度～平成29年度)

平成27年3月 策定

1 施設の設置目的

石川県滝港マリーナは、健全な海洋レジャーを育てるとともに、教育的側面を持ったマリーナとして、スポーツの振興を図ることを目的としています。

2 施設の果たすべき役割

日本海にせり出した能登半島のほぼ中央部・羽咋市にある石川県滝港マリーナは、金沢から車で約40分、自然豊かな国定公園域の中にあり、子供から大人まで、広く県民のマリンスポーツの起点、散策など憩いの場所として親しまれています。

当マリーナはヨット競技大会の開催や、ヨット講習会の実施により、マリンスポーツ人口の拡大や啓発・普及を図ることを、その役割としています。

3 事業内容

(1) 大会の開催

行政や各種関係団体と連携し、ヨット大会等を開催することで、県民がマリーナを活用する機会を創出しています。

(2) 講習会の開催

船舶免許講習会を開催し、船舶利用者数の拡大や、安全運行の促進に寄与しています。

4 現状と課題

(1) 管理運営体制について

- ・石川県滝港マリーナでは、民間のノウハウを活用して、施設を効率的・効果的に管理するため、指定管理者制度を平成18年度から導入しています。
- ・利用者に対する利便の提供、利用の促進、施設の使用許可、施設の使用料の徴収、施設・設備及び備品の維持管理及び修繕に関する業務などは指定管理者が行っており、当中期経営目標の実施期間である平成27年度から29年度までは、「有限会社プロジェクトドウ」を指定管理者として指定しています。
- ・県では、利用状況や利用者からのご意見などの管理状況について、指定管理者より定期的に報告を受け、運営指導や財政支援を行う等、適正な管理・運営に努めています。

- ・ 県は指定管理者と調整し、老朽化した施設の更新・修繕などを実施しており、今後とも取り組みを充実させる必要があります。

(2) 施設の利用促進及びサービス(満足度)向上について

- ・ 石川県滝港マリーナでは、広く県民のマリンスポーツの起点、散策など憩いの場所として親しまれるよう、当マリーナの現状を正確に把握し、様々な利用者の声を大切にしながら、特性に合わせた管理運営を行うよう心がけています。今後も、これまでの実績を活かしつつ、さらに効率的、効果的な手法を研究し、取り組んでいく必要があります。
- ・ 当マリーナでは、これまでも、ヨット大会等の各種レース大会が開催されています。また、学生の部活動の場としても活用されており、今後もより一層の利用促進のため、全国大会・イベントの誘致活動を進めていく必要があります。
- ・ ホームページや facebook を活用し、イベント等の情報発信を行っています。今後とも情報発信の充実を努め、幅広い年齢層を対象とした広報活動を行っていく必要があります。

(3) 施設運営の効率化について

- ・ 今後とも指定管理者の創意工夫に基づいた管理運営により、質の高いサービスを利用者に提供するとともに、管理経費の節減に努める必要があります。

5 中期経営目標

(1) 中期経営目標（指定管理者が実現すべき目標）

- ① 利用者数（ヨット、ボート）を3年間で10%増加させます。
- ② 利用者アンケートによる満足度は、引き続き95%以上を維持します。

(2) 測定指標と目標値

測定指標		H25実績値	目標値(H29)
① 利用者数（ヨット、ボート）		5, 556人	6, 120人
② 利用者アンケートによる満足度	利用者サービス	96%	95%以上
	施設の維持管理	100%	95%以上

6 指定管理者が設定した目標達成に向けた具体的な取組内容

(1) 施設の利用促進及びサービス(満足度)向上に向けた取り組み

- ・行政や各種関係団体と連携し、ヨット教室の開催や各種レース大会の誘致等を推進することに加え、新たに乗船体験会を開催することで、県民がマリーナを活用する機会を創出します。
- ・船舶免許講習会に加え、無線免許講習会を開催し、船舶利用者数の拡大や安全運行の促進に寄与します。
- ・ホームページ及び facebook ページ等のソーシャルネットワーキングサービスを活用し、各種イベントをPRすることで、参加者や利用者の拡充に取り組みます。
- ・利用者が早朝出航を希望する場合、前日のうちに棧橋に係留しておけるよう対応します。
- ・繁忙期（6月から9月までの4ヶ月間）の土日祝日の利用時間を延長し、午前8時から午後6時までとすることで、利用者の利便性を向上させます。
(※利用時間は通常、午前9時から午後5時まで)
- ・地震、津波等の災害対策として、火災等緊急時の利用者の避難、誘導、安全確保及び関係機関への通報等について危機管理マニュアルを作成し、職員全員が対応できるよう社員教育を実施します。
- ・利用者とのコミュニケーションを密にし、信頼関係を築くことで、苦情にいたる前に利用者の不満や疑問を把握し、解決していきます。具体策として、利用者との懇談会の開催や、アンケート調査などの方法で、利用者の声を聞く機会を作ります。

(2) 施設運営の効率化に向けた取り組み

クレーンやフォークリフトなど故障時に大規模な修繕が必要な施設についても、毎朝始業時にこまめに点検するなど、徹底した維持管理による管理経費の削減に努めるほか、質の高いサービスの提供のため、指定管理者の創意工夫に基づいた管理運営を実施します。

参考資料(施設の利用状況など)

(1)利用指標(利用人数、稼働率などの状況)

項目	H23	H24	H25
施設利用者数	15,104人	13,703人	11,395人
うちボート	2,580人	2,321人	2,235人
うちヨット	2,933人	2,246人	3,321人
小計	5,513人	4,567人	5,556人
うちその他(緑地など)	9,591人	9,136人	5,839人

(2)使用許可等の状況

項目	H23	H24	H25
使用許可件数	959件	1,014件	998件

(3)使用料の収入実績

項目	H23	H24	H25
使用料等収入額	14,236千円	14,040千円	15,845千円

中期経営目標の設定根拠 ※非公表

目 標	根 拠
<p>① 利用者数（ヨット、ボート）を3年間で6,120人にします。</p>	<p>H25利用者数（ヨット、ボート） 5,556人</p> <p>(1) 自主事業（乗船体験など）の強化による増 282人</p> <p>(2) 広報活動の強化による増 282人</p> <p style="text-align: right;">合計 564人</p> <p style="text-align: center;">5,556人 + 564人 = 6,120人</p> <p style="text-align: center;">※目標人数は指定管理者との協議によるもの</p>
<p>① 利用者アンケートによる満足度は、引き続き95%以上を維持します。</p>	<p>H25満足度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者サービス 96% ・施設の維持管理 100% <p>1) 現在行っている自主事業の継続</p> <p>2) 施設の清掃、警備及び保守点検の継続</p> <p>3) その他新たな取り組み</p> <p>などにより、満足度95%以上を維持</p>